※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３１７ |
|---|---|

# 令和５年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校「公共」　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の諸課題についての基本的な知識を身に付けるとともに、課題の解決のために主体的に考え、判断する能力を身に付けましょう。

社会課題に対する見方、考え方は多面的であることを理解し、公共的存在としての能力を養いましょう。

## ２　学習の到達目標

考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。 | よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| １学期 | 第１章公共の扉 | １節　公共と人<br>１項 人は一人では生きられない<br>２項 人はどのようにつながるのか<br>３項 自由と正義の実現を目指して<br>４項 対話から生まれる公共<br>５項 日本の公共思想<br><br>２節　公共と倫理<br>１項 功利主義と義務論<br>２項 水俣病を考える<br>３項 地球温暖化問題<br>４項 誰が医療を支えるのか<br><br>３節　公共の基本原理<br>１項 生徒会予算をどう分配するか<br>２項 意見が分かれたときどう決めるか<br>３項 民主主義の歴史<br>４項 憲法の基本原理<br>５項 男女平等について考える<br>６項 表現の自由とヘイトスピーチ | a:自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。自分自身が、よりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。<br>b:社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>小テスト | 提出物（プリントの空欄を埋めるだけでなく、メモや自由記述欄などを設ける） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ２学期 | 第２章　現代の諸課題 | １節　法<br>１項 法と社会<br>２項 契約と消費<br>３項 司法と裁判<br><br>２節　政治<br>１項 政治参加<br>２項 国政と地方自治<br>３項 国家主権と領土問題<br>４項 安全保障<br>５項 国際社会と日本 | a：法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。<br>b：自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c：法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>小テスト | 提出物（プリントの空欄を埋めるだけでなく、メモや自由記述欄などを設ける） |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | 第３章　持続可能な社会へ | ３節　経済<br>１項 職業選択<br>２項 労働問題<br>３項 財政と税<br>４項 社会保障<br>５項 市場経済<br>６項 金融<br>７項 国際経済<br>第２章　ゼミナール　情報<br>第３章　持続可能な社会へ | a: 職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。<br>b: 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: ③職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>小テスト | 提出物（プリントの空欄を埋めるだけでなく、メモや自由記述欄などを設ける） |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度